

ユビキタスネット社会の実現に向けた政策懇談会
IT産業ワーキンググループ

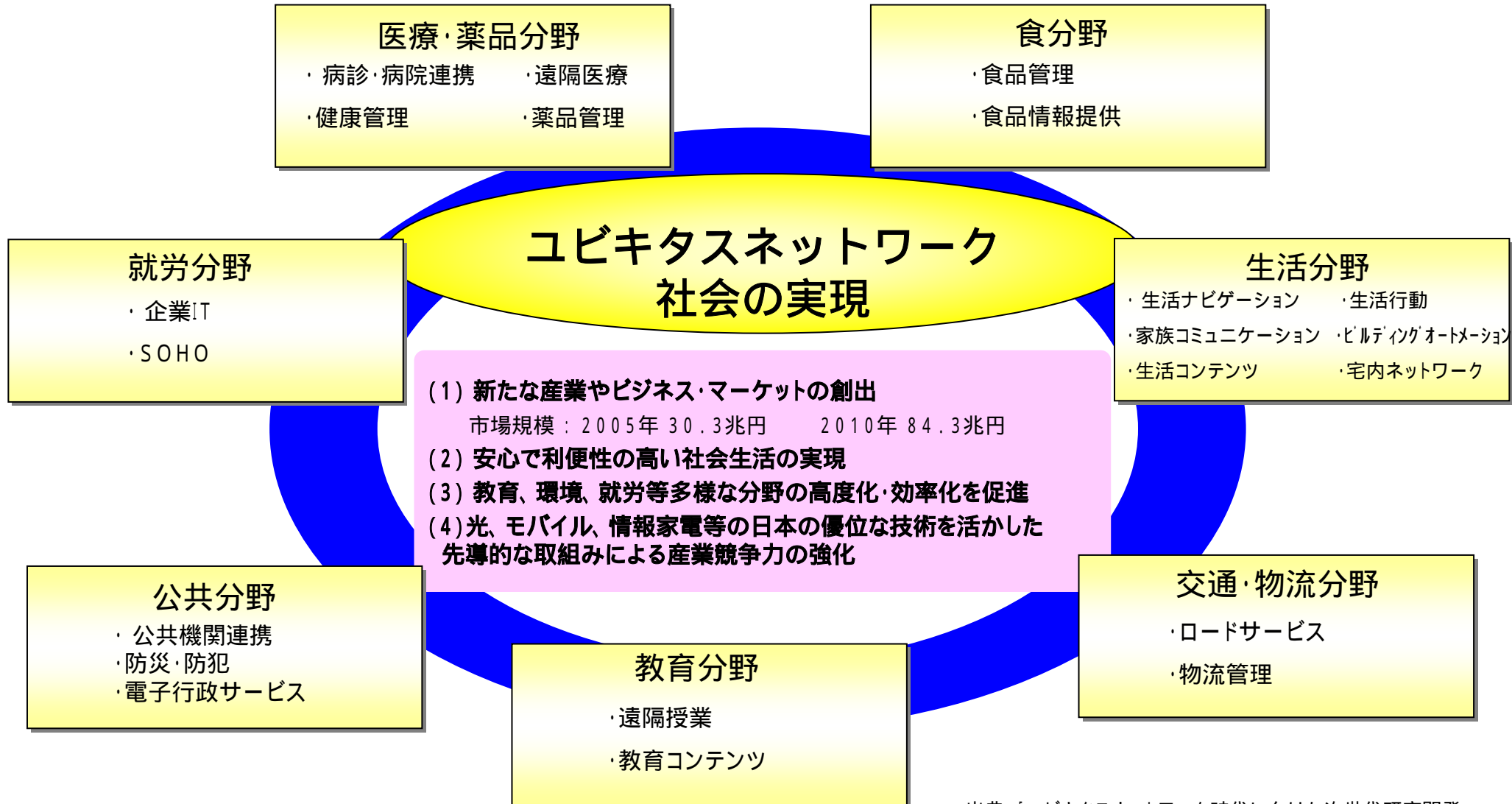
ユビキタスネット社会において
創出される利活用のイメージ

事務局

平成16年3月1日

ユビキタスネットワーク社会の実現の意義

ユビキタスネットワークの利活用分野の例



(1) 医療・薬品分野

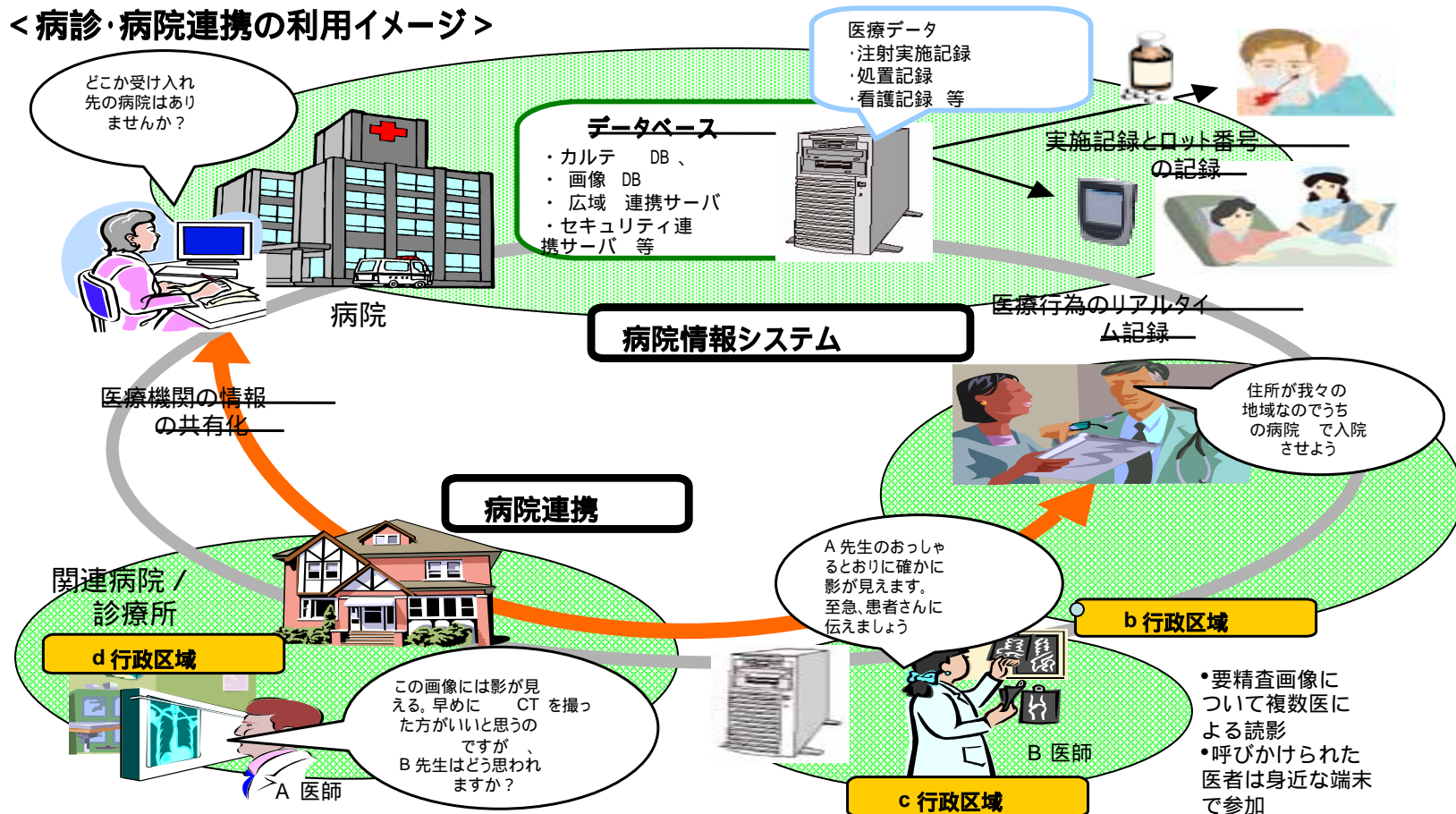
病診・病院連携: 病院間を高速ネットワークで相互接続することにより、カルテや医療画像を共有、交換しながら診断の実施が可能。

健康管理 : 在宅患者がバイタルセンサ機器をつけることにより、常に主治医から管理・診断が可能。

遠隔医療 : 高速ネットワークで離れた病院等と接続することにより、遠隔地から医療行為が可能。

薬品管理 : 薬品に添付した電子タグ等により病院内等でリアルタイムに薬品の在庫・使用履歴を把握することにより、容易な薬品管理が可能

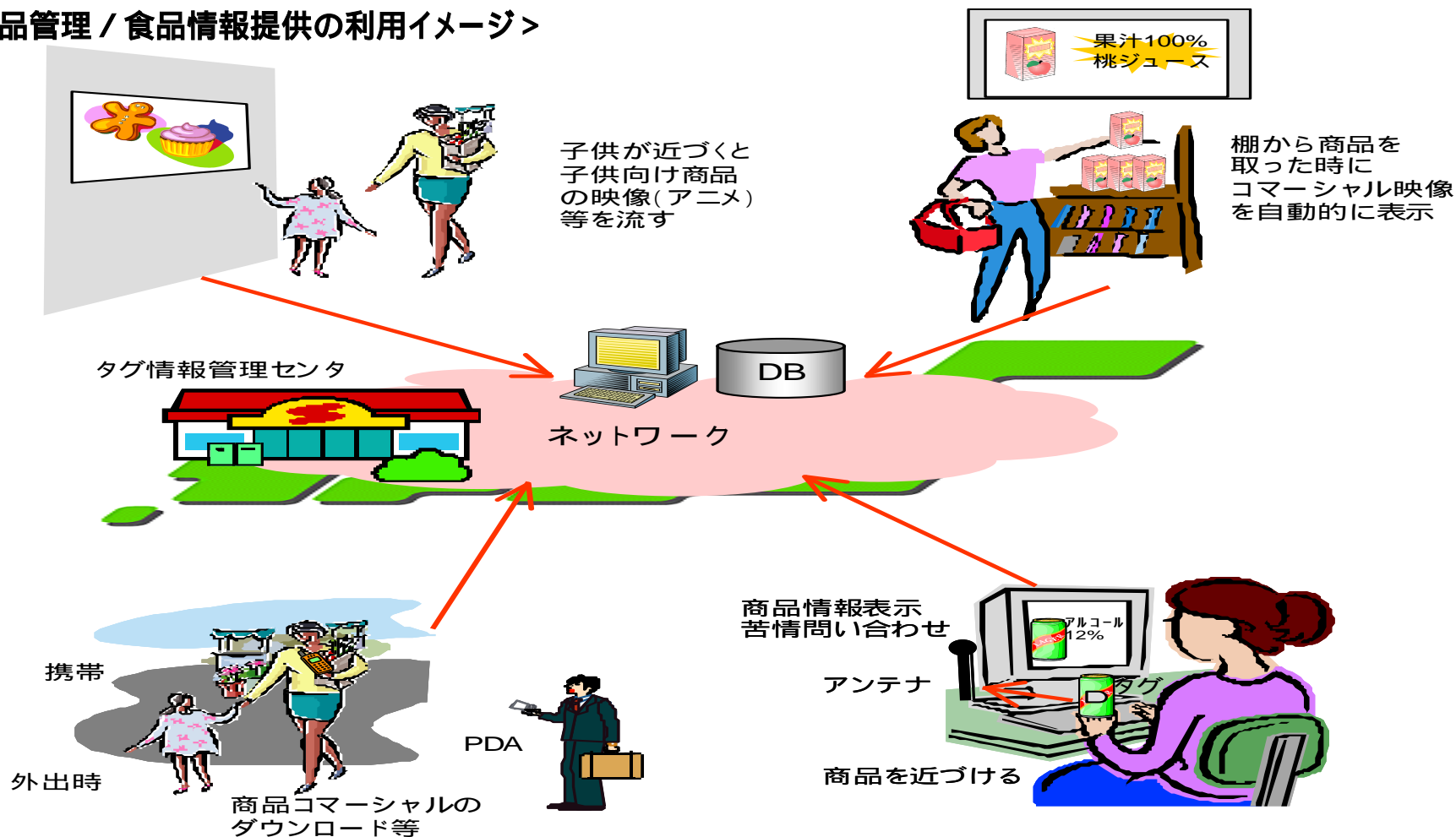
< 病診・病院連携の利用イメージ >



(2) 食分野

食品管理 / 食品情報提供: 管理する食品単位に電子タグ等をつけることにより、各食品がネットワークに接続され、食品流通における様々な食品の状態の管理が可能。利用者の嗜好情報が利用者の所持している情報通信端末に蓄積されることで、利用者の嗜好にあった商品の積極的な宣伝が可能。

<食品管理 / 食品情報提供の利用イメージ>



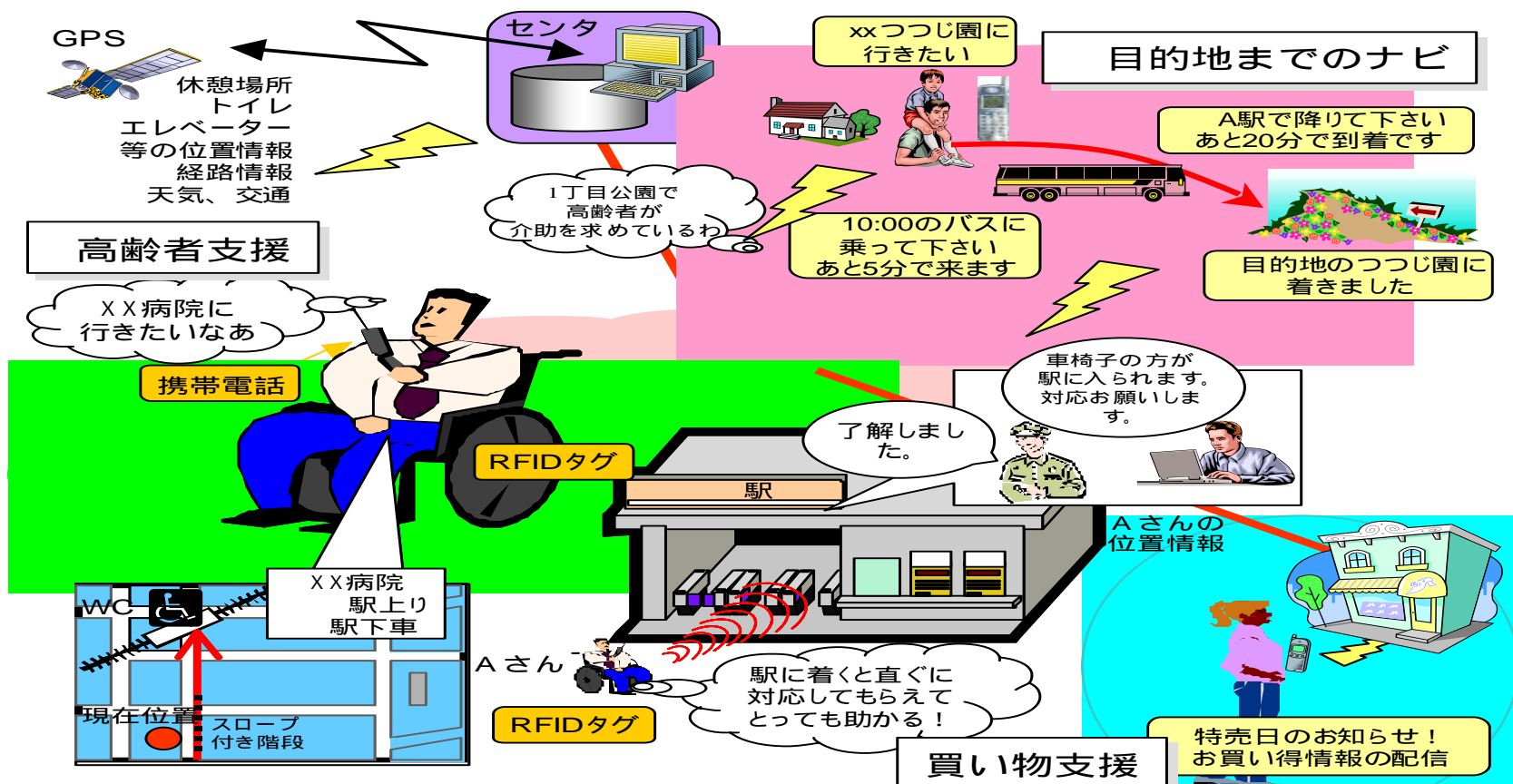
(3) 生活分野

生活ナビゲーション: 目的地までのナビゲーションや、買い物支援、高齢者や要介護者がトイレ、エレベーター、スロープなど高齢者や要介護者にとって大切な施設の位置や経路案内の情報を受けることが可能。

家族コミュニケーション: 遠隔で離れて暮らしている家族の互いの生活リズムをシステムが把握し、スケジュールのマッチングで通信システムが自動的に接続可能。

生活コンテンツ: 嗜好情報と位置情報に即して、生活する上で必要な天気情報、渋滞情報、電車の事故情報、近くのスーパーの特売情報など普段の生活に密着した情報を得ることが可能。

<生活ナビゲーションの利用イメージ>

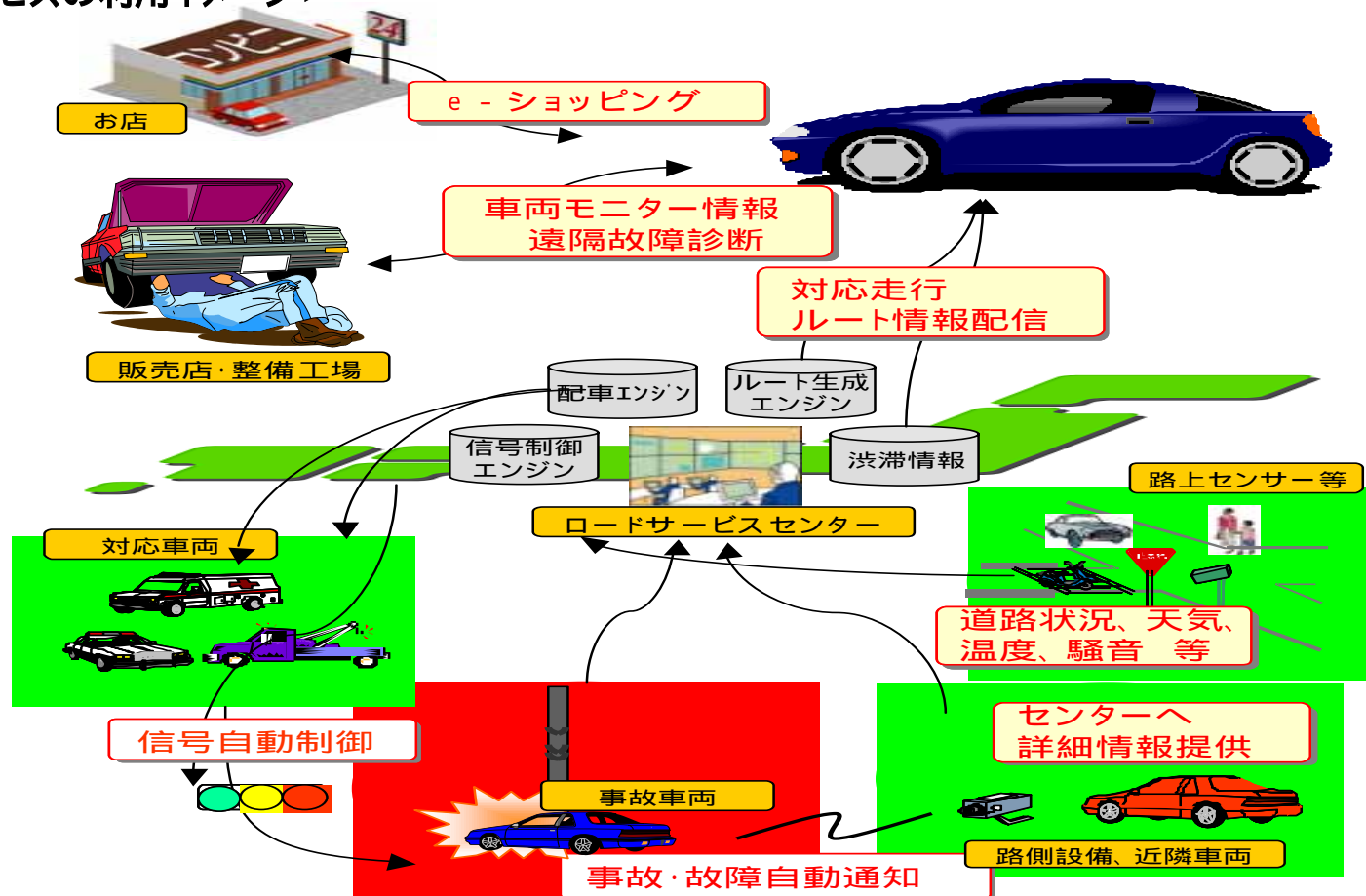


(4) 交通・物流分野

ロードサービス：渋滞、事故等の情報をリアルタイムに取得でき、車両の適切なルート情報の生成、また、故障・事故を起こした場合には、センターへの自動通知等が可能。

物流管理：荷物に電子タグを貼付することによる、出荷地、中継地、目的地における荷物の管理・追跡が可能。

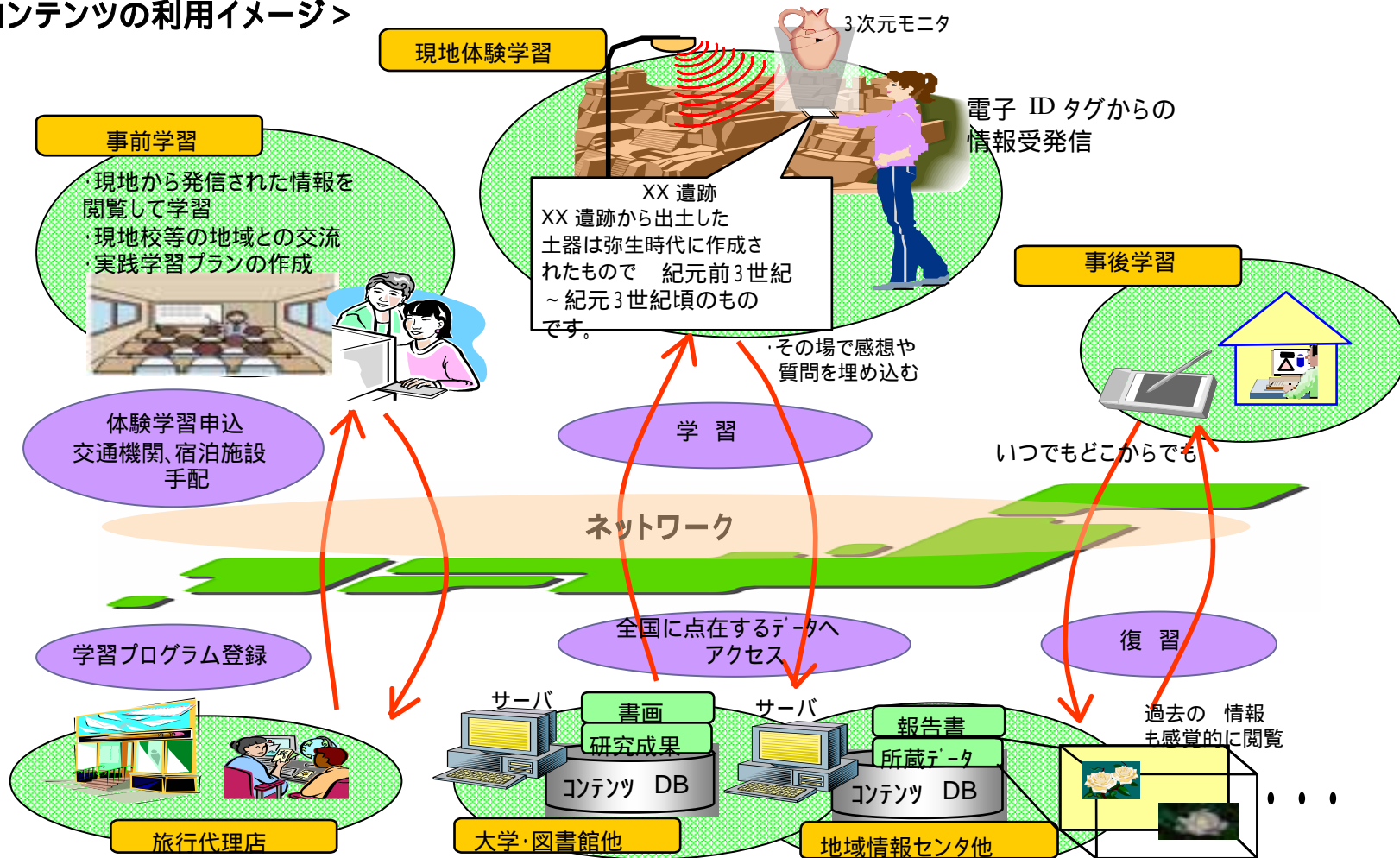
<ロードサービスの利用イメージ>



(5) 教育分野

遠隔授業: ネットワークを介した遠隔授業の実現が可能。
 教育コンテンツ: ユーザは、自分の位置、端末やネットワーク環境を意識することなく、全国に点在する高品質なコンテンツを入手しシームレスに最適な形態で利用可能となる。

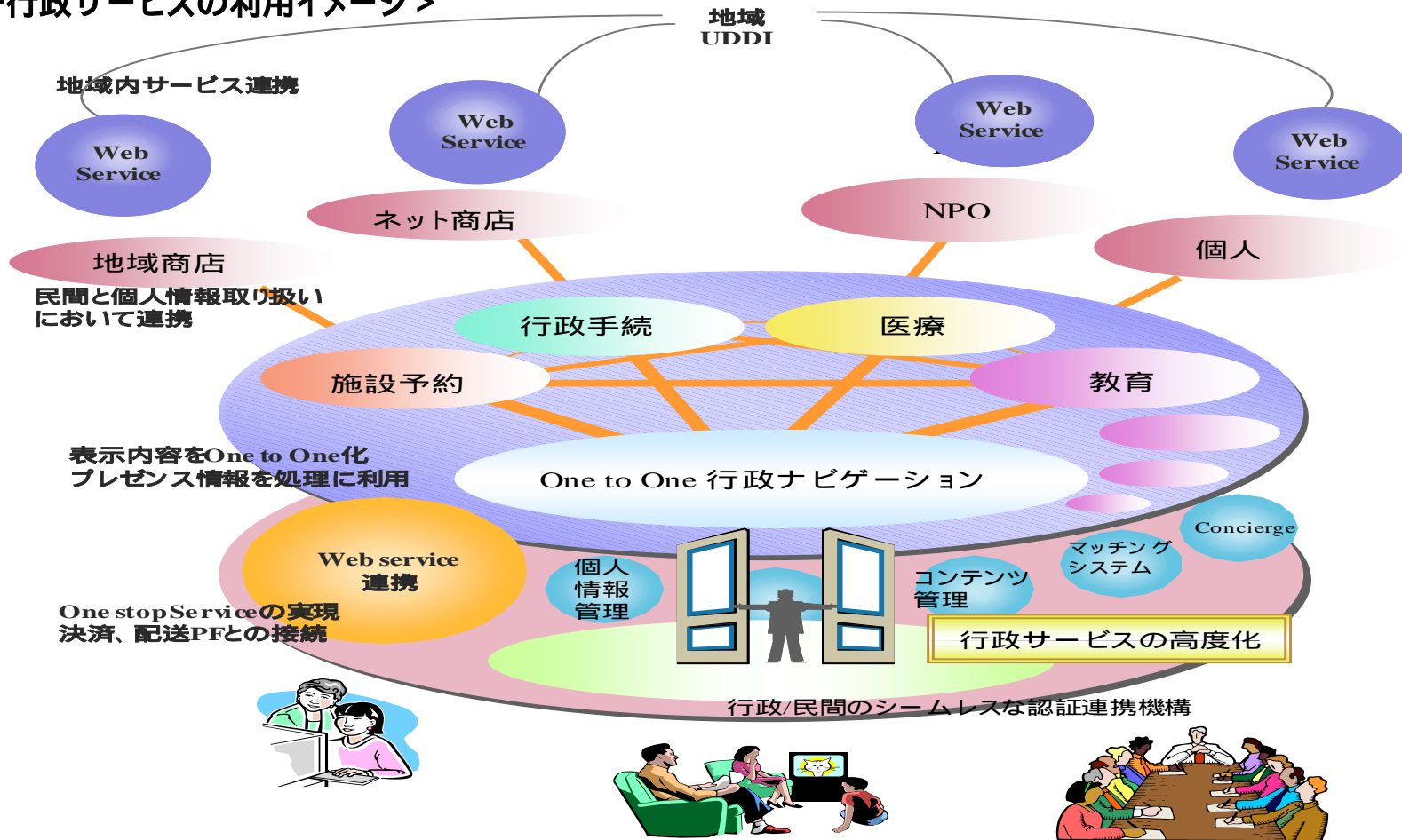
<教育コンテンツの利用イメージ>



(6) 公共分野

公共機関連携: 学校や公共施設などを高速基幹ネットワークと接続し、どこからでもエリアにアクセス可能。
 電子行政サービス: 利用者個々の特性(登録情報+履歴)に応じ最適なナビゲーション動作を提供することが可能。
 防災・防犯: 旅行先、外出先から常時家宅を自動監視し、異常時にはいつでもどこでも警報を受信することが可能。

<電子行政サービスの利用イメージ>



(7) 就労分野

企業IT: 中小企業、個人、SOHOは、取引相手企業についてシステムの利用実績から蓄積された信用情報を獲得可能。また商取引の交渉はシステムに自動的に実施させることが可能。
SOHO(どこでもオフィス): 端末や場所によらず、自分専用の最適な作業空間が提供されることが可能。

<SOHOの利用イメージ>

